

第6回広島市障害者ボッチャ大会競技規則及び申し合わせ事項

1. 競技規則

令和7年度の(一社)日本ボッチャ協会競技規則に準じ、全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)および本大会申し合わせ事項に基づき実施する。

2. 競技方法

- (1) 本大会は立位の部・座位の部に分け、個人戦(2エンド制)を予選リーグ戦・決勝トーナメント形式で行う。
- (2) 2エンドが終了して同点だった場合、ファイナルショット制度にて勝敗を決める。
- (3) ウォームアップは2分以内でジャックボール含め7球のみとする。
- (4) ジャックボールを含めた各選手の投球時間は1エンドあたりそれぞれ5分とする。なお、ファイナルショット制度では各選手の投球時間は1分とする。
- (5) 違反行為が発生した場合、各選手1試合に対し1回目の違反は注意・指導とし、2回目以降は投球したボールをリトラクション(ボール除去)する。
- (6) 移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタント、ランプオペレーターをつけることができる。
- (7) スポーツアシスタント及びランプオペレーターは、移動すること、方向を変えること、投球することに対して補助するものであって、選手の意思を離れて競技に介入することは許されない。
- (8) 試合中に緊急事態が起こった場合、5分間のタイムアウトを取ることができる。また審判が認める場合は追加で5分間の延長ができるが、10分を超えてコートへ戻らない(戻れない)場合は棄権とする。

試合中における違反行為(一部抜粋)

- ① ラインを踏む、もしくはボックスの外に足や補装具が接地した状態で投球する。
- ② 審判の指示がある前に投球する。または指示がない選手が投球する。
- ③ ランプオペレーターが試合中にコートを見たり、競技に介入したりする所作を審判が認めたとき。

順位の決定

- ① 勝ち数が多いほうが上位。
- ② 勝ち数が同じな場合は、直接対決で勝った方が上位。
- ③ ①②が同じ場合は、得失点差多いほうが上位。
- ④ ①②③が同じ場合は、ファイナルショット制度にて勝敗を決める。

3. 用具検査

- (1) 競技用具の持ち込みの選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーターは、受付終了後にはすべての用具検査をする。招集前には完了すること。
- (2) 未検査の用具および審判員が実施する用具検査にて基準を満たしていないと判断された用具は試合では使用できない。なお、用具に疑義がある場合は、審判の判断により競技中に臨時で実施する場合がある。
- (3) 主催者側から貸出した物に関してはその限りではない。

4. 招集

- (1) 選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーターは、試合開始の 15 分前から 10 分前までに試合に使用する競技用具を準備のうえ招集所に入ること。
- (2) 招集時間に現れなかつた選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーターは棄権とみなし、試合に出場できない。招集所に持参されなかつた競技用具は試合では使用できないものとする。
- (3) 招集所にて、じゃんけんで勝つた選手が先攻後攻を選択する。
- (4) 試合中の場合は、招集完了とし、準備でき次第、試合を開始する。

5. 開閉会式・表彰式

- (1) 開会式は競技開始前、閉会式及び表彰式は競技終了後、競技場内で行う。
- (2) 各区分1位～3位までメダル、それ以外の選手には敢闘賞を授与する。

6. 撮影

- (1) スポーツアシスタント・ランプオペレーターによる競技場内の撮影は禁止する。
- (2) 撮影は、観覧スタンドから行うこと。
- (3) フラッシュ撮影は禁止する。

7. その他

- (1) 貴重品については、各自責任を持って管理すること。
- (2) 競技エリアは土足禁止であるため、各自体育館シューズに履き替えること。なお、車いすの選手については、競技エリア入口でタイヤを拭いて競技場に入場すること。
- (3) 噫煙は、所定の喫煙場所で行うこと。(館内禁煙)